

## 特殊鋼棒鋼製品およびステンレス形鋼製品で 環境ラベル「SuMPO EPD」を取得

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）の SuMPO 環境ラベルプログラムに基づき、当社で製造している特殊鋼棒鋼製品およびステンレス形鋼製品について「SuMPO EPD※」を取得しました。

SuMPO EPD は、LCA（ライフサイクルアセスメント）手法を用いて、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品のライフサイクル全体を考えた環境情報を定量的に開示する EPD（製品の環境宣言）認証制度の一つです。これにより、当該製品の環境負荷を客観的かつ定量的に評価することが可能となり、お客様が購入する際の判断材料となります。

今回 EPD を取得した特殊鋼棒鋼製品およびステンレス形鋼製品は、当社の資源循環型モノづくりの枠組みの中で、再生資源である鉄スクラップを主原料に環境負荷の低い電炉を用いて生産されています。

特殊鋼棒鋼製品は様々な自動車用部品に、国内シェアトップを誇るステンレス形鋼製品は橋梁などの土木分野に加え、医薬・食品工場など建築物においても活用されるなど、採用分野・用途は今も拡がりつつあります。今回の SuMPO EPD 取得によって、客観的で透明性の高い環境情報を提示し、お客様の環境問題に対する取り組みに貢献していくことが期待されています。

当社は、2030年ビジョンの経営指針のひとつとして「持続可能な地球環境への貢献」を掲げており、2050年度までのカーボンニュートラル早期実現を目標に、多方面から取り組みを強化してきました。今後も「環境に一番やさしい鉄屋」として、地道な省エネ活動に加えて、技術開発、再エネの活用、生物多様性保全などを積極的に進め、持続可能な社会の実現へ貢献していきます。

※SuMPO EPD：国際規格 ISO 14025 に準拠した「タイプⅢ環境宣言」で、EPD（Environmental Product Declaration）の1つ。  
（2024年4月に「エコリーフ」から「SuMPO EPD」へ名称変更）



JR-AW-24069E <https://ecoleaf-label.jp/epd/2255>

JR-BO-24013E <https://ecoleaf-label.jp/epd/2256>